

2023年10月15日(日)

日本キリスト教団 <sup>きゅうほうぎょうかい</sup>久宝教会

第66巻第28号(通算3360号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

かみさま <sup>ひと</sup>神様がすべての人と共に <sup>とも</sup>おられる  
ことを証ししていく <sup>きょうかい</sup>教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ

## 聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい

## 第21主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜん そう もくとう <sup>ちようけいはいしん</sup> 前 奏 黙 禱 AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね <sup>ことば</sup> 招きの詞 詩編 9編 11-12節

さんびか 21-343番 <sup>ばん</sup>「聖霊よ、降りて」(©著作権消滅)

せいしよ 聖 書 ルカによる福音書 17章 20-37節

いの 祈り

さんびか 21-475番 <sup>ばん</sup>「あめなるよろこび」(©著作権消滅)

メッセージ「天国は、どこにありますか？」 牛田 匡 牧師

さんびか 21-579番 <sup>ばん</sup>「主を仰ぎ見れば」(©著作権消滅)

しゅいの 主の祈り 62番 <sup>ばん</sup>「天にいます わたしたちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

ささげもの 献げ物 (\*)

はけん 派 遣 21-91番 <sup>ばん</sup>「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく 祝 福 牛田 匡 牧師

こうそう 後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

ほうこく 報 告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ 受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

<sup>まね</sup><sup>ことば</sup>  
11 御名を知る者はあなたに信頼する。

主よ、あなたは尋ね求める人を／お見捨てにならなかった。

12 主をほめ歌え、シオンにいます方を。

もろもろの民に主の<sup>わざ</sup>業を告げ知らせよ。

聖書 ルカによる福音書 17章 20-37節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>20</sup> ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスはお答えになった。「神の国は、観察できるようなしかたでは来ない。<sup>21</sup>『ここにある』とか、『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの<sup>a</sup>中にあるからだ。」 (脚注 a: 別訳「手中にある」)

<sup>22</sup> それから、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたが、人の子の日を一日だけでも見たいと望む時が来る。しかし、見ることはできない。<sup>23</sup>『そら、あそこに』『そら、ここに』と人々は言うだろうが、出て行ってはならない。また、追いかけてもならない。<sup>24</sup> 稲妻がひらめいて、大空の端から端へと輝くように、人の子もその日に現れるからである。<sup>25</sup> しかし、人の子はまず多くの苦しみを受け、今の時代から<sup>はいせき</sup>排斥されなければならない。<sup>26</sup> ノアの時にあったようなことが、人の子の時にも起こるだろう。<sup>27</sup> ノアが箱舟に入る日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり<sup>b</sup>嫁いだりしていたが、洪水が来て、一人残らず滅ぼしてしまった。<sup>28</sup> ロトの時にも同じようなことが起こった。人々は食べたり飲んだり、買ったり売ったり、植えたり建てたりしていたが、<sup>29</sup> ロトがソドムから出て行った日に、火と<sup>いおう</sup>硫黄が天から降って来て、一人残らず滅ぼしてしまった。<sup>30</sup> 人の子が現れる日にも、同じことが起こる。 (脚注 b: 別訳「嫁がせたり」)

<sup>31</sup> その日には、屋上にいる者は、家に家財道具があっても、取り出そうとして下に降りてはならない。同じように、畑にいる者も戻ってはならない。<sup>32</sup> ロトの妻のことを思い出しなさい。<sup>33</sup> 自分の命を救おうと努める者は、それを失い、それを失う者は、命を保つのである。<sup>34</sup> 言うておくが、その夜一つの寝床に二人の人が寝ていれば、一人は取られ、他の一人は残される。<sup>35</sup> 二人の女が一緒に<sup>うす</sup>白を挽いていれば、一人は取られ、他の一人は残される。」<sup>36</sup> †<sup>37</sup> そこで弟子たちが、「主よ、それはどこですか」と言った。イエスは言われた。「死体のある所には、<sup>はげわし</sup>禿鷲も集まるものだ。」 (脚注 <sup>36</sup>★底本には欠節・異本による訳文「二人の人が畑にいれば、一人は取られ、他の一人は残される。」)

## 《先週のメッセージより》10月8日メッセージ

「置かれた所で咲きなさい？」より

牛田匡牧師

聖書 ルカによる福音書 17章1-10節

今自分がここにいるべきかどうかを思い悩んでいる時、「置かれた所で咲きなさい」というこの言葉によって励まされ、その場に留まり無事に花を咲かせることが出来た人は少なくないでしょう。しかし、その一方で開花に必要な光も何もないようなどん底に置かれ、自分で移動する手段も機会も奪われている人たちにとっては、この言葉は呪いの言葉にもなりかねません。同じ言葉でも、その言葉を受け取る人の置かれている場所によっては、その意味は全く異なってくる。

今回の聖書のお話は、弟子たちに語ったイエス様の言葉でした。「小さくされている者をつまずかせることのないように」(1-2)、「7回赦しなさい」(3-4)、「自分は何か特別なことをしていると思いが上がることがないように」(10)というような言葉でした。これら一連のイエス様の言葉は私たちに、どこに視座を移し、どこから世界を見直すかを、問うているように思います。何重にも巧妙に築き上げられているハラスメントに満ちた搾取の構造の中で、私たちは意図せず一消費者として生活しているだけで、誰かの足を踏み付け、差別し搾取することに加担してしまっていることがあります。それは食料品や工業製品だけではなく、ショービジネスにおいてもそうです。「つまずきは避けられない」(17:1)という言葉は、直訳すると「つまずきを起こさないようにするのは難しい」です。「他人をつまずかせたい、傷つけたい」とは思っていないくても、「つまずきを起こさないように、生じさせないようにし続けるのは大変難しい」というわけです。願わくは、私たちが知らずに犯す罪がありませんように、隠れた罪から解放されますように(詩編19:13)と祈ります。

単に今、自分が置かれている所で花を咲かせることだけに注意するのではなく、小さくされている人々の側に自分の立ち位置を少しでも移して、そちら側からこの世界全体を見直して歩めるようでありたいと思います。そのような時にこそ、「自分が花を咲かせることの出来る場所はどこか」ということが、心から分かってくるのではないのでしょうか。「置かれた所で咲きなさい」、もう既に一人一人の霊の中に種は蒔かれています。そして神様はその一つ一つに、花を準備されています。そのことに信頼して、私たちは今週もそれぞれの場において、用いられて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (10月8日)

礼拝出席 大人3名 献金 大人3,000円 中継視聴者数7回 感謝

先週の礼拝後に予定されていた10月期の「教会を考える会」は、開催が延期されました。

◎次週 2023年10月22日(日) 収穫感謝礼拝(聖霊降臨節第22主日礼拝)

招きの詞 詩編 78編 2-4節

聖書 ルカによる福音書 19章 11-27節

メッセージ「賜物を活かす」牛田匡牧師

賛美歌 21-18 (©P.D.)、21-185 (©教団讃美歌委員会)、21-516 (©JASRAC)

「収穫感謝礼拝」として、お米やお野菜、果物などの大地の恵みをお献げくださる方は、どうぞお持ちください。献げられました収穫物は、釜ヶ崎支援のために、いこい食堂に献品致します。なお、礼拝後には併せて、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」も行い、いこい食堂にお届けする予定です。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。感染症予防のためなど、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・10月28日(土)14時~16時半にかけて、大阪聖和教会(JR桃谷駅より徒歩20分。天王寺駅より市バス今里行に乗車し「中川2丁目」下車、徒歩8分)にて、映画『ワタシたちハニンゲンダ!』の上映会と、されます高賛侑監督によるトークショーが開催されます(主催は大阪教区日韓宣教協約特別委員会)。入場料は無料で、事前申込も不要です。外国人学校に対する官製ヘイトや、技能実習生、難民、入管の実態など、外国人差別の実態に迫るドキュメンタリー映画(2022年114分)です。どなたでもご参加ください。
- ・来月11月は「愛児祝福月間」です。礼拝の中で「愛児祝福式」を行います。小さい子どもたちもどうぞ一緒にご参加ください。また11月5日は「召天者記念礼拝」です。ご家族やご友人など先に天に召された方々のお写真をお持ちになって、ご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
10/22	牛田牧師	収穫感謝礼拝・おにぎり支援
10/29	牛田牧師	誕生者祝福式
11/5	水谷牧師	(愛児祝福月間) 召天者記念礼拝・聖餐式 13時半~ 王寺墓地墓前礼拝(牛田) 15時~ 敬老ホーム「第二好意の庭」 永眠者記念礼拝(牛田)
11/12	牛田牧師	(愛児祝福月間)教会を考える会? 15時~王寺墓地、教区墓前礼拝(牛田)

